

3月28日(月)15:30～ 千葉ポートスクエア内ガーデンシティ千葉

ラオックス・羅怡文社長と緑地集団・張玉良会長による記者発表を開催

～ラオックスと中国・緑地集団が日本初のインバウンド専門のアウトレットモールを展開～

ラオックス株式会社(本社:東京都港区/代表取締役社長:羅怡文/証券コード:8202、以下「当社」という)は、中国最大手の不動産会社である「緑地控股集团有限公司」(以下、緑地集団)と共同出資し、複合施設「千葉ポートスクエア」(千葉県千葉市中央区)の資産受益権を取得致しました。緑地集団にとっては、中国からの観光客が激増している日本のインバウンド業界での初めての投資先となります。

当施設は敷地面積約2万㎡、床面積は約14.7万㎡で、高機能オフィス、ショッピングエリア、ホテルなどを含めたテナントの総面積は約9万㎡に及び、投資額は合計で100億円を超える見込みです。

本格的な始動に先立ち、3月28日(月)、当社代表 羅怡文と緑地集団 張玉良・董事長(会長)兼総裁とによる、千葉ポートスクエア内TKPガーデンシティ千葉において、「Greenland and Laox Investment Limited 千葉ポートスクエア除幕式典」、及び今後の事業展開に関する記者発表を開催致しました。式典には千葉市・副市長 神谷俊一様にもご列席いただき、「千葉市にとっても意義深く、喜ばしいプロジェクトです」と、地域を上げて歓迎する祝辞を頂戴いたしました。



昨年の訪日外国人数は過去最高の1973万人に達し、今後さらなる拡大が見込まれております。以前は団体旅行で訪日されていたお客様も、今では個人で再訪される機会が増え、「モノ消費」から、体験型の「コト消費」へと目的が変化しつつあります。「千葉ポートスクエア」は、成田空港から東京都内への好立地に位置する施設で、「ショッピング」「グルメ」「宿泊」「エンターテインメント」等のジャパングオリティな日本文化体験を1ヶ所で楽しめる、日本初のインバウンド専門の“アウトレットモール”に、2016年後半生まれ変わります。

インバウンド(訪日外国人)と、近隣地域(千葉市民)のお客様両方のニーズを満たす、世界中の誰もが便利に安心して利用できる日本最大級のインバウンド複合施設を千葉に創出し、地域の活性化にも繋がるプロジェクトといたします。

【Greenland and Laox Investment Limited 千葉ポートスクエア除幕式典概要】

日時	2016年3月28日(月)15:30～17:00		
場所	千葉ポートスクエア内TKPガーデンシティ千葉(カンデオホテルズ千葉内)		
参加者	緑地控股集团有限公司	董事長兼総裁	張玉良(ちょうぎょくりょう)
	ラオックス株式会社	代表取締役社長	羅怡文(らいぶん)
ご来賓	中国駐日本国大使館経済商務処 参事官 景春海(けいしゅんかい)		
	千葉市 副市長 神谷俊一(かみやしゅんいち)		
	独立行政法人日本貿易振興機構 理事 前田茂樹(まえだしげき)		

<千葉ポートスクエアについて>

物件名	千葉ポートスクエア			
所在地	千葉県千葉市中央区問屋町1番35号			
対象規模	敷地面積	21,067.14㎡	床面積	147,054.46㎡